

調査概要

I 年間調査テーマの選定理由

本市は、ZOZOマリンスタジアム、フクダ電子アリーナ、千葉ポートアリーナ等を擁し、多数のプロスポーツのホームタウンや活動拠点となっている。

執行部においては、千葉市スポーツ推進計画を策定し、トップスポーツとの連携の推進や国際的・全国的スポーツイベントの誘致に取り組んでいるほか、令和5年3月に策定された千葉市経済成長・雇用創出ビジョンにて、ホームタウン施策の推進やeスポーツ・アクションスポーツ等の開催の促進が示されるなど、各種施策の推進が図られている。

近年、多くの競技にわたり、国際大会や全国規模の大会も開催されており、今後ますますスポーツによる地域・経済の活性化に期待が高まっていることから、調査を行うこととした。

II 調査の概要

1 本市の現状調査

(1) 座学による調査（当局からの説明を聴取）

令和5年9月12日、所管局である市民局および経済農政局に対して、所管事務調査を実施した。

〈詳細は委員会記録参照〉


調査目的	今期の年間調査テーマであるスポーツによる地域・経済活性化について、本市における現状や課題、今後の取組等について当局から説明を聴取し、質疑応答を行う。
調査項目	1 スポーツによる地域・経済活性化について（市民局） （1）千葉市スポーツ推進計画について （2）トップスポーツとの連携の推進について （3）各種スポーツイベントの開催について （4）地域イベントについて 2 スポーツによる地域・経済活性化について（経済農政局） （1）ホームタウン推進事業について （2）大規模イベント開催支援事業について （3）250競走について （4）競技大会の開催・誘致について

2 先進市の取り組み事例の調査

(1) スポーツコミッションせんだいについて（仙台市）

令和5年10月24日、仙台市を視察し調査した。


〈詳細は視察報告書を参照〉

調査目的	仙台市は、「仙台市スポーツ推進計画」に基づき、スポーツイベントの誘致と開催支援を通じて、交流人口の拡大と地域経済の活性化を図り、人とまちの元気をはぐくむ「スポーツシティ仙台」の実現を目指しており、スポーツ大会の誘致等について調査し、本市取組の参考とする。
調査項目	1 スポーツコミッションせんだいについて (1) 概要 ア 設立の経緯 イ 理念と特色 ウ 組織の概要 (2) 事業 ア スポーツによる街の活性化に関する事業 イ 地域のスポーツ振興に関する事業 ウ スポーツを支える力を強化する事業 エ プロスポーツ等連携事業 (3) 大会の誘致実績と今後について ア 大会誘致実績 イ 経済波及効果 ウ 成果と課題
視察の様子	

(2) ボールパーク構想について (北広島市)

令和5年10月26日、北広島市を視察し調査した。

〈詳細は視察報告書を参照〉

調査目的	<p>北広島市では、官民連携プロジェクトとしてボールパークを整備することで、北広島市のアイデンティティを高め、未来の担い手となる居住者や企業立地を促進しながら、持続的な都市経営と社会課題の解決を図る地方都市の再生モデルを実現することを、北広島市のボールパーク構想と位置づけ推進を図っており、2023年3月には新球場「エスコンフィールドHOKKAIDO」が竣工された。</p> <p>これまでの取組や成果等を調査し、スポーツを通じた地域・経済活性化に関して、本市取組の参考とする。</p>
調査項目	<p>1 ボールパーク構想について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 誘致の経緯(2) 北海道ボールパークFビレッジについて(3) エスコンフィールドHOKKAIDOについて(4) ファイターズとのまちづくりの取組(5) Fビレッジ開業後の状況
視察の様子	

Ⅲ 調査の総括

令和5年12月5日、当委員会において、年間調査テーマに基づく調査の総括として、委員間で意見交換を行い、次のとおり意見が出された。

主な意見

・仙台市のスポーツコミッションは大変興味深いものであり、本市にも必要な体制というふうに認識した。多様な参画による体制整備ということが必要であると感じたところである。

2点目が、やはりスポーツというのは、まちづくりに影響するなということがあった。これは北海道日本ハムファイターズのホームスタジアムの現地視察などからも感じたところであり、本市の所管を見ても、やはりどこかだけがやるというのではなく、町にどう落とし込むかということが必要だと感じた。

3点目が、プロスポーツの振興のみならず、パラスポーツや市民スポーツ振興にもアミューズメント性を高めることによって、経済効果を高める必要があるのではないかと感じた。

最後に、委員長の狙いでもある市民局と経済農政局の両方にスポーツについて調査したわけであったが、この連携が必要であって、必要に応じて、経済関係のこれからの計画策定にもスポーツというトピックスを絡めて、経済計画を策定する必要があるのではないかと考えた。

・プロスポーツを持っていることの強みというのは、ものすごく大きいなということを感じた。

特に北広島市は、もともと何もない場所で、札幌市の方がはるかに栄えていたが、北海道日本ハムファイターズの1チームが移転しただけで、あれだけ町に活気が出てきて、人も集まるようになったというのは、効果としてはすごく大きいと改めて実感した。

一方で、北広島市を視察してもう一つ思ったのは、行政の関わり方が、民間企業に対して、どこまで突っ込んで関わっていくのかというところの難しさもあるというのは改めて実感した。

千葉市も同じような状況であると思うので、行政の関わり方というところをさらに検証していく必要があると思った。

・プロスポーツがあるということで、千葉市では千葉ロッテマリーンズがあるが、民間企業がどれだけ力を入れてやるかというところを、行政はどういうふうにサポートしていくかという点と、またそれを応援するファンというか、市民や地元の方がどのくらい増えるかということが大事だと思う。

市外から応援に来て帰るのではなくて、やはり地元の方が地元のプロスポーツを

応援し、またそういうまちづくりに関わってくるところも必要だと思っている。

そういう面では、千葉市の場合は千葉ロッテマリーンズがあるが、どのように動くのかということと、サッカーでもジェフユナイテッド市原・千葉があるが、どのようにして力を入れて、それをサポートしていくかという体制づくりや、それを支えるファン、市民の方が本当にどれだけ増えていくかと、そういうところもちょっと考えていかなければいけないのではないかなと、北海道日本ハムファイターズの球場を見学・視察し、そう感じた。

・視察に行って、行政がどこまで手を入れていいのか、多分みんな同じことを感じたのではないか。ここを何かクリアできる方法がないのかとか、何かそういう時間があって議論できて、行政はこういうことまでできないのかとか、そういうことまで話ができたらいいと感じた。

・非常に大事なテーマだなというのを、1年間勉強させてもらって、また視察先に行って感じた。そういう意味では、これをキックオフとしてというか、ここをスタートにして、やはりスポーツと地域・経済活性化というのは非常に大事なテーマで、これからも深めていかなければいけないというのを、この委員会で年間調査テーマに置くことによって、また実際に動いてみることによって、やはり多くの委員が感じたことで、ゴールはまだまだ全然見えないけれども、何かこれをスタート、キックオフにして、このテーマについて今後より研究を深めていきたいと思いますという契機にはすごくなったと思う。

ただ、エスコンフィールドHOKKAIDOがちょっと衝撃的なというか、結局あそこは当然、民間の会社が、北海道日本ハムファイターズがあそこまで中身も含めて構想されて、やってきたことであり、そこから学び取ったことは、スポーツという切り口でここまでのことはできるんだと。

そういう民間の活力を引き出していくということも本当に必要だろうし、では行政は一体それに対して、ああいうふう頑張ってくれる企業があるところはいいけれども、なかなかどの企業もあのような発想力と事業力があるわけでもないで、そういう意味では千葉市も最近アルティアリー千葉だとか、新しいスポーツ団体、元気なスポーツ団体が出てきているということからすると、これからそういう可能性というものをやはり我々も考えながら活動していかなければいけないということを感じた1年だったというか、次に向けてお互いに深めていきたいと思いますという、そんな機会だったと思った。

・スポーツを振興すると同時に、経済の活性化という課題もあって、めったに行かない球場を見させてもらって、本当に衝撃的だった。

365日24時間休みなしで、ああいう場所を提供できるような、北広島市という地域性もあったと思うが、やはりスポーツの持つ力というのは大きいというふうに思

った。では、それを千葉市に展開しようと思ったときに、またちょっと地域性はあるかなとか、あと私のようにスポーツから遠のいている人にとっても使えるような施設というところで、万人の皆さんが使えるという施設は、またそれはいろいろ難しい問題もあるのではないかなという気はして、スポーツの振興と経済の活性化という関係性はもう少し深める必要があると思った。